

観光文化

Tourism Culture

242

July
2019

多様化する ビジネストラベル

1. ビジネストラベルの変化と現状

(公財)日本交通公社 守屋邦彦

2. ブリーチャーマーケットの現状と可能性

(公財)日本交通公社 池知貴大

3. ワケーションが 生み出す可能性 ～日本航空株式会社の取り組み～

日本航空(株) 東原祥匡

4. 家族を伴う ビジネストラベル・ マーケットの 実態と可能性

鯨本あつこ(離島経済新聞社)

×
趙アラ(韓国文化観光研究院)

×
長縄将幸(JTBグループ労働組合連合会)

5. 新たな マーケットへの 対応と展望

施設における取り組み例…Little Japan 柚木理雄

地域における取り組み例…和歌山県 天野 宏

聞き手:(公財)日本交通公社 小坂典子

多様化する
ビジネストラベルの
可能性

守屋邦彦

視座

巻頭言 インタビュー
ビジネスと
レジャーを「つなぐ」
デスティネーションへ
MPI Japan Chapter 山本牧子



活動報告
第16回「たびと」Cafe
進化するまちあるき
「まいまい京都」の
舞台裏から学ぶ
グランドホテル・以倉敬之
報告・福永香織
【連載】
観光を学ぶインタビュー③
山梨大学 田中ゼミ
わたしの1冊 第15回
「蒼穹の昴」 浅田次郎著
日本健康開発財団 栗原茂夫
「旅の図書館」たより
おすすめの蔵書・資料
特集関連の蔵書・資料
出版物のご案内

近年、業務を目的とした旅行に休暇を組み合わせる「ブリージャー(Bleisure)」、休暇を目的とした旅行に業務を組み合わせる「ワーケーション(Workation)」、更には特定の拠点を持たずに国内外を移動し暮らしつつ仕事をするライフスタイルなどが海外において拡大してきているが、日本においても徐々にその動きが始まってきている。

こうした動きは、訪問先である都市や地方にとっては、

従来1人の来訪者であったものが家族同伴により2人、3人と増加する、

また1泊であったものが休暇を加えて

2泊、3泊と長くなるといったビジネスチャンスの拡大を意味する。

しかし一方で、地域や施設の対応が

従来のビジネスパーソン向けだけでは十分でなく、

新たに対応すべき事項が生じてくる事も想定される。

こうした背景のもと、本特集ではビジネスレベルがどのように多様化しているのか、どのような課題や可能性があるのかを示し、

今後、どのような対応を図っていくべきなのかを検討する。

